

優秀賞

高校生部門

神奈川県横須賀市

神奈川県立横須賀高等学校1年

浜脇 慶伍

## 真の言葉と向き合おう

雨の日も、風の日も――。

僕たち陸上部員が必ず行うことがある。グラウンドに入る時、グラウンドから出る時に一礼をすることだ。グラウンドまでの小道では、友達と会話が弾む。授業でのおもしろい出来事や先生の悪口など、数え切れないほど多くの言葉が僕たちを包む。

そんな僕らを静寂の世界へと引き連れるのが、あの一礼である。

無言の一秒間――。

野球部のかけ声が聞こえる。サッカーボールを蹴る音がする。そして、風が通り抜ける音さえ聞こえてくる。

この瞬間、僕は思うのだ。「今日も頑張ろう。グラウンドさん、よろしくね」と。

僕自身、言葉に救われたことは何度もある。大事な試合の前に「頑張れ」「応援しているぞ」と言われると、身も心も奮い立つ。

ただ、僕がそれ以上に尊いと思うのは、「無言の時間」である。言葉の持ついい面も悪い面もすべて自分のまわりから消える瞬間。この時、自分の中にある真の思いに気づくことができるのではないだろうか。

もし友達と会話を楽しみながらグラウンドに入ったら、僕は自分の練習への意欲を高められただろうか、グラウンドへの感謝の気持ちを噛みしめることはできただろうか。

会話での言葉は、必ずしも自分の心にある真の言葉とは限らない。相手、雰囲気によって常に変化していくはずだ。一方、音が消えた瞬間に思い浮かぶのは、自分の心にある真の言葉だ。自分へのはげまし、目標、感謝の気持ち――。すべて、会話の中の言葉からは見出だせないのではないだろうか。

これからも、グラウンドに一礼をする一瞬の静寂は大切にしていきたい。自分の心の中の真の言葉と向き合える、大切な時間だから…。